

鴨川ふるさと会だより

— 第17号 —

鴨川ふるさと会発行 事務局：〒296-8601 千葉県鴨川市横渚1450番地（鴨川市役所企画政策課内） TEL：04-7093-7828

第2回ふるさとセミナーの開催

鴨川シーワールドの魅力再発見 水族館の裏側と海獣類の生態を探る

去る2月26日（日）、本市を代表する観光施設である鴨川シーワールドを舞台に、第2回ふるさとセミナーを開催しました。36名と多くの会員及びそのご家族の参加をいただき、海獣医の特別講演、水族館の裏側の見学、海獣とのふれあいを経て、施設の魅力を再確認しました。

鴨川シーワールドは1970年10月に開園した大型の総合海洋レジャー施設。シャチ・イルカ・ベルーガ・アシカなどのパフォーマンス（シャチは国内で唯一）をはじめ、ディスプレイバリーガイダンスと呼ばれるバックヤードの見学ツアーや海獣とのふれあい体験など、その充実したメニューから、国内外を問わず年間90万人が訪れる人気のスポットとなっています。

一方で、これまでにシャチやセイウチの出産、イルカの人工授精出産、さらにはウミガメの繁殖にも成功するなど、飼育下繁殖の研究と推進に尽

力されているほか、鴨川市制施行10周年を記念して、平成27年から毎年2月11日に「鴨川市民DAY」（鴨川市民を対象とした入園無料サービス）を開催するなど、地域とのつながりを大切に、地域に根ざした活動にも力を入れています。

この度のふるさとセミナーでは海獣たちの出産から飼育、水族館の魅力、海獣とのふれあいに着目しました。

子氏からは「海獣たちの子育てに学ぶ」と題してご講演をいただきました。シャチやイルカなどの出産・子育てに関する雄雌の役割分担や子離れのタイミングなど、人間との共通点や相違点を学ぶとともに、これら海獣たちの飼育や繁殖の苦労を伺い知ることができました。

おける海水の循環（ろ過）の仕組みをはじめ、海獣たちの搬出入の方法やウミガメの保護活動について詳しく解説をいただきました。

昼食を挟み、午後は、海獣とのふれあいの一環として、来園者から人気の高い「ベルーガにタッチ」に参加をしました。真っ白な体のベルーガに直接ふれることで、生命の大切さとふれあいのすばらしさを体感しました。

ふるさとセミナーを通じて、鴨川シーワールドがなぜ多くの方から愛され続けるのかを知るとともに、施設の裏側における様々な方々のご活躍があつて素晴らしいサービスの提供が維持されているということを知ることができました。



勝俣悦子氏の特別講演



水族館裏側の見学



ベルーガにタッチ

鴨川への私の思い

鴨川ふるさと会理事
伊藤茂久

▼鴨川版CCRCへの期待

現在、社会を見渡すと、独居老人、介護施設、高額な医療費、加速する高齢化、世代間の断絶など、ネガティブなキーワードが並びます。

リタイア後の時間は10万時間の時間と謳われており、その時間を孤独や不安を感じながら暮らすか、あるいは快適なコミュニティ(プラチナタウン)で暮らすかによって余生が大きく変わります。キーワードはつながりや絆、世代交流であると思います。

元気なシニア世代を地方に呼び込み、医療や介護、生涯学習などの拠点をつくる「生涯活躍のまち(CCRC)」



魚見塚展望台からの眺望

の実現は、高齢者の流入で町の高齢化が進み、医療介護費の負担が増えると思われるのですが、CCRCで町に多様な雇用が生まれ、地元の若年層の県外流出を抑制し、働く世代が流入することは、医療介護費の負担増を上回る経済波及効果があると言われています。シニアはコストではなく担い手であるという「逆転の発想」がピンチをチャンスに変えてくれます。

このCCRCの実現に向けて、鴨川を含め全国260の自治体が手を挙げており、今後はアクティブシニアの誘致合戦になっていくとも言われています。このような中、鴨川は三菱総合研究所とコンサルタント契約を結び、鴨川版CCRC推進会議を開催するなどの他に負けない積極的な取り組みに心強さを感じているところでは、今後は、移住者が年賀状に書いて自慢したくなるような魅力ある地域づくりが出来るかどうかのポイントであると思います。

▼鴨川への大いなる希望

鴨川はきれいな海岸線を持つ海をはじめ、大山千枚田、嶺岡牧、みんなみの里、波の伊八、南房総初的女子サッカーチーム「オルカ鴨川FC」、医療では亀田総合病院ありと



認定こども園OURS

盛りだくさんの町です。

ふるさと会の会員を対象としたアンケートでも、将来は鴨川に戻りたい、鴨川に移住したいといった回答が17%18%もありました。

若い人たちにとっては、社会福祉法人太陽会が運営する認定こども園OURSなども大変魅力的に感じます。

▼生涯現役を目標に

日産出身の私は、現在デイサービスにて労務関係の仕事を中心に、朝・夕の送迎を担当しています。この仕事は、私が17歳の時に見たNHKの「青年の主張」に強く感銘を受け、将来は福祉関係の活動を是非やってみたいと思ひ、介護関係の資格を取り、現在7年目になります。

福祉の仕事に携わってみて、確かに自分の思いが実現したことにそれなりに満足感はあるりますが、日常の業務を遂行

する中で、お年寄りの方とのお付き合いには思っている以上に難しい問題があることを認識しました。虐待問題、病気、年金、一人暮らし、孤独死、殺人などは、新聞やテレビで毎日のように報道をされています。このような中で、私なりにやってみたい福祉の仕事が色々あります。

「認知症カフェ」

認知症カフェといっても喫茶店ではありません。認知症の方や、その家族だけでなく、認知症に興味のある方なら誰でも参加し、コーヒーを飲みながら語り合える場です。私が住む江東区内でも、行政の支援を受けながら、現在10か所以上で活動中です。

「オープンカフェ」

子どもとお年寄りが楽しく気持ちを通えるような環境づくりに挑戦してみたいと考えています。子どももお年寄り



初代波の伊八作(大山寺不動堂向拝)

掲載記事を募集します！

事務局では、会員の皆様からの「鴨川ふるさと会だより」への掲載記事を募集しています。日頃感じていることや、ふるさと鴨川への思い、身の回りの出来事などを会員ページに掲載してみませんか。

今号では、理事の伊藤茂久さんに「鴨川への私の思い」というテーマで、ご寄稿をいただきました。ありがとうございました。

今後も、この「鴨川ふるさと会だより」を、会員同士の交流を深める場、報告の場などとして、どうぞお気軽にご利用ください。

も楽しく生きていける社会、これは人間社会の本来あるべき姿であると思います。

リタイア後、鴨川で第二ステージとして新しい目標が出来たような気がしています。忙中閑あり。仕事以外にもゴルフを含めやりたいことがいっぱいあります。目標を持ったら果敢に挑戦する。これは国会議員秘書、また組合活動を通じて強く学んできたように思います。仕事も余暇も「生涯現役」を心に刻み、頑張っていきます。



オルカ鴨川FC

2016シーズンの報告

(活動報告書から抜粋)

▼なでしこリーグ2部昇格 (チャレンジリーグ優勝)

チーム結成3年目にして、なでしこリーグ(日本女子サッカーリーグ)管轄のチャレンジリーグ(全国3部相当)に参戦した2016シーズンは、なでしこリーグ2部昇格を究極的な目標としてチーム強化に取り組んできました。

4~7月に開催された、2016プレナスチャレンジリ

★2017シーズン 開幕戦
(対 コノミヤ・スペランツァ大阪高槻)
第1節 3月25日(土) 午後1時キックオフ
大阪府高槻市立萩谷総合公園サッカー場
★2017シーズン ホーム初戦
(対 岡山湯郷Belle)
第2節 4月2日(日) 正午キックオフ
鴨川市陸上競技場

※第3節以降の試合詳細についてはオルカ鴨川FC公式ホームページをご覧ください。



グEASTのレギュラーシーズンでは、全15戦13勝0分2敗という圧倒的な成績で1位となり、プレーオフ順位決定戦1~4位グループに進出しました。特に第11節までは開幕戦から無失点連勝という記録的な成績でした。
2016プレナスチャレンジリーグプレーオフ順位決定戦では、初戦・ホームの鴨川市陸上競技場でWEST2位のバニーズ京都SCと対戦し、前半2失点の厳しい状況から



後半3点を奪い、3対2の劇的な大逆転勝利を飾ると、その勢いに乗り、第2戦・アウェイ

で大和シルフィードに1対0で勝利、最終戦・ホームで静岡産業大学磐田ボニータに2対0で勝利し、3戦全勝でチャレンジリーグ優勝に輝きました。

チャレンジリーグ優勝により、なでしこリーグ2部自動昇格の権利を手にし、10月25日に行われた、なでしこリーグ理事会にて全会一致で承認され、昇格が正式に決定しました。2017シーズンはさらなる高みを目指し、全国の強豪チームとなでしこリーグ2部を戦います。

▼オルカ鴨川BUを創設

チーム創設3年目となる2016シーズン。なでしこリーグ1部参入を目指すトップチームの強化に加え、南房総から将来女子サッカー界を担うトップアスリートを育成すべく、中学生・高校生・大学生・社会人からなる育成チーム「オルカ鴨川BU」を国際武道大学

の協力のもと、創設しました。県女子サッカーリーグ2部に新規参入し、同リーグの優勝及び県リーグ1部昇格を目標に活動を開始しました。結果は県リーグ2部2位、平成29年1月29日に行われた入替戦では0対1で惜敗し、残念ながら県リーグ1部への昇格は果たせませんでした。

▼地域への普及活動等の拡大

昨年発足した「オルカなでしこサッカースクール」はスクール生が徐々に増え、小学校低学年コースを開設し、約40人の子どもたちが集まってきています。他のクラブチームやスクールとの交流も積極的にを行い、また、ホームゲームではエスコートパーソンを務めるなど、スクール活動の充実を図っています。

▼ふるさと会会員の皆様へ

なでしこリーグ1部昇格を目標に、また、地域愛と社会貢献への想いを常に持ち、オルカ鴨川FCは2017シーズンも全力で駆け抜けます。選手たちのさらなる活躍のため、練習や試合での応援をはじめ、オルカフレンズ(オルカ鴨川FC後援会)への入会など、引き続き皆様のサポートをお願いします。

新規会員を募集しています!

本会では、年間を通して新規会員を募集しています。

本会報の発送に併せて、会員募集用のチラシ(兼入会申込書)を同封させていただきました。

会員の皆様のお知り合いの方で、鴨川出身の方や鴨川にゆかりがあり鴨川を応援したいという方へお配りいただくなど、会員の募集にぜひご協力ください。

なお、入会の流れは以下のとおりとなります。

①チラシに必要事項を記入し、事務局(市企画政策課)あてにFAXする。(郵送・持参も可)



②事務局から入会申込者へ年会費払込票、活動紹介、ふるさと大使のご案内等を送付します。



③事務局で年会費の入金が確認できたら入会完了です。

ふるさとぽーと寄附金

(ふるさと納税)

本会では、ふるさと鴨川の更なる発展に寄与するため、「ふるさと納税」による積極的な支援を勧奨しています。

これまでの実績や変更点などは会報第15号へも掲載をしておりますが、平成27年度の決算の確定により、改めてトピックスとしてお知らせします。

▼平成27年度の実績

平成27年度の寄附金総額は3522万6千円で、平成26年度の279万円と比較して、1262%の大幅な増となりました。

主な要因としては、謝礼品について平成27年10月まで1万円以上の寄附に対し、金額の大小に関係なく6品目の中から選択する形としていたところ、同年11月から謝礼品の大幅な見直しを行い、寄附金額で1万円以上から100万円以上まで金額別に7段階に分け、内容も特産品等の充実をはじめ、鴨川市に足を運んでもらうための市内宿泊施設の宿泊券や観光体験商品、また、主に市内の病院での人

間ドックなどを追加し、全41品目を揃えたことが挙げられます。

▼平成28年度の改善点

寄附者の利便性向上を目的として、平成28年4月からふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」からの申込みを可能としたほか、インターネット経由でのクレジット決済を可能としました。また、地域のPRや活性化を目的に、昨年度に続く謝礼品の拡充に加え（現在全96品目）、これまで年度内1回限りであった謝礼品贈呈の回数制限を廃止し、同一年度内で寄附ごとに何度でも謝礼品を受け取れるようにしました。（1回の寄付で複数の謝礼品を組み合わせてすることも可能）

ふるさと納税のお申し出は、年間を通して随時、受け付けています。また、謝礼品は平成29年度以降もさらなる拡充を図ってまいりますので、今後とも会員皆様のご支援・ご協力をお願いします。



ふるさと会員 ゆかりのお店 ④

なみや 波の家 海鮮和食



◎鴨川ふるさと大使の菱刈理佳さん（東条出身）が女将を務めているお店です。



- ◆JR山手線「恵比寿駅」のすぐそばです。
- ◆海辺に佇む古民家をイメージした空間を創出しています。
- ◆看板メニューは、お造り、金目鯛煮付け、鯛めしです。
- ◆金目鯛は鴨川から直送しています。
- ◆さざなみコース(¥4000)、波の家コース(¥6000)がおすすめです。

住所：〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-14-6 HAGIWARA BLDG. 6-3F TEL：03-6427-0166
 アクセス：JR山手線「恵比寿駅」西口より徒歩3分
 東京メトロ日比谷線「恵比寿駅」2番出口より徒歩3分
 営業時間：17：00～24：00（ラストオーダー23：00） 定休日：日曜日

ふるさと会員 ゆかりのお店 ⑤

サチヘアースペース理美容室



◎鴨川ふるさと会会員の澤本緑さん（天津出身）が店主を務めているお店です。

- ◆店主は本千葉パリ美容学校卒の美容師です。
- ◆店主は現在73歳ですが、娘夫婦、従業員とともに元気にお客様のカットを行っています。
- ◆ご来店の際、「鴨川市出身です」と言っていいただければ、スプレーのミニサイズをプレゼントします。

住所：〒198-0064 東京都青梅市袖木町1-52-8 TEL：0428-76-3253
 アクセス：JR青梅線「二俣尾駅」より徒歩18分
 駐車場：5台
 営業時間：8：30～20：00 定休日：毎週火曜日・第3月曜日